



平成21年 2月 5日

各 位

会 社 名 株式会社 福岡中央銀行
 代表者名 取締役頭取 田中 克佳
 (コード番号 8540 福証)
 問合せ先 取締役総合企画部長 中島 健二
 (TEL 092-751-4429)

平成21年3月期 第3四半期末の有価証券評価損及び、
 平成21年3月期通期業績予想(非連結)の修正に関するお知らせ

当行は、「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、簿価に比べ時価および純資産額が著しく下落し、その回復が困難であると認められるものについて、平成21年3月期 第3四半期において減損処理による有価証券評価損を計上する必要が生じたのでお知らせします。

なお、四半期会計期間末における有価証券の減損処理につきましては、四半期洗替え法を採用しているため、平成21年3月期の期末日の時価により、有価証券評価損の額が変動する場合、もしくは有価証券評価損を計上しない場合があります。

また、平成20年11月13日に公表いたしました平成21年3月期通期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の業績予想(非連結)を下記のとおり修正いたしますのでお知らせします。

記

1. 平成21年3月期 第3四半期末の有価証券評価損の総額

(A) 平成21年3月期 第3四半期会計期間(平成20年10月1日から平成20年12月31日まで)の有価証券評価損の総額(=イ-ロ)	881百万円
(イ) 平成21年3月期 第3四半期累計期間(平成20年4月1日から平成20年12月31日まで)の有価証券評価損の総額	953百万円
(ロ) 平成21年3月期 第2四半期累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)の有価証券評価損の総額	72百万円
(B) 平成20年3月期の純資産額 (A/B×100)	19,625百万円 (4.5%)
(C) 最近5事業年度の平均経常利益額 (A/C×100)	857百万円 (102.8%)
(D) 最近5事業年度の平均当期純利益額 (A/D×100)	533百万円 (165.3%)

(ご参考)

(1) 当行の決算期末は、3月31日であります。

(2) 当行の有価証券の減損処理基準は以下のとおりであります。なお、株式については(四半期)期末月の平均時価、株式以外については(四半期)期末日の時価で判定しております。

① 50%以上下落した銘柄は、すべて減損。

② 30%以上50%未満下落した銘柄で、業績、財政状態及び過去の株価推移等により回復の見込みがないと判断した銘柄について減損。

2. 業績予想(非連結)の修正

① 平成21年3月期通期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位:百万円)

	経常収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	11,000	750	450
今回修正予想 (B)	11,100	250	150
増減額 (B-A)	100	△500	△300
増減率	0.9%	△66.7%	△66.7%
(ご参考) 前期実績(平成20年3月期)	10,980	785	311

② 業績予想(非連結)の修正理由

当行の業績予想につきましては、経常収益、業務純益は計画を上回る見込みですが、世界的な市場混乱や信用収縮に伴い保有有価証券に減損損失が発生するため、平成20年11月13日公表の平成21年3月期通期業績予想の修正を行っております。経常利益は前回予想比5億円減少の2億50百万円、当期純利益は前回予想比3億円減少の1億50百万円となる見込みであります。

※上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上